

# 娘を安楽死させた

## アメリカ発 母の告白

飯塚真紀子  
ジャーナリスト



ブリタニーと夫のダン

ブリタニー・メイナード

本当に今日でいいの？  
と私は娘に聞いた

二〇一四年十一月一日、脳腫瘍のため余命わずかと宣告されていたブリタニー・メイナードは「安楽死」を選択して、二十九歳の人生に終止符を打った。

幸せな新婚生活を送っていたブリタニーの死が世界から大きな注目を浴びたのは、死に先立って、動画サイト・ユーチューブで安楽死を表明していたからだ。動画は、千二百万回近く視聴されるほ

ど大きな話題を呼び、今も影響を与え続けている。

他界から二年。遺族たちは安楽死という選択を広める活動を続けている。母デボラ・ジューグラは、昨年十月、娘の生き方を描いた『ワイルド・アンド・プレシヤス・ライフ』という本を出版。初めて明かしたその胸のうちを聞いた。

娘の様子がおかしいとわかったのは、二〇一三年の大晦日のこと。その夜、娘は夫のダンに耐えられないほどの激しい頭痛を訴え、ダンは近くの病院に娘を連れて行きました。そこでCTスキャンの検査をしたところ、影が見つかったのです。娘はすぐさま大病院に搬送されました。搬送先で、娘は二日間、たくさんの精密検査を受けました。いろいろな医師が入れ替わり立ち替り検査室

っていた娘は深い衝撃を受けました。

### 冒険好きの娘だった

事前に遺伝子検査をすると、化学治療が患者に効果があるかどうか知ることができるのですが、検査の結果、娘はその効果が得られないことがわかりました。

残る選択肢は放射線治療しかありません。しかし、問題は、脳の四分の三に渡って腫瘍が広がっていることでした。そのため医師からは、放射線治療をすると、話すことができなくなったり、視覚が失われたり、食べ物を飲みこむことができなくなったりするどころか、思考さえもままならなくなる可能性がある指摘されました。腫瘍を退治できる可能性はあっても、娘はまるで脳死に近い状態に置かれることになってしま

に入ってきました。いったい娘はどこが悪いのか。私もダンもとても心配でしたが、医師に尋ねる勇気はありませんでした。不安な私たちをよそに、ブリタニー自身が医師に切り出したのです。

「いったい、私の身体に何が起きているんでしょうか？」

検査をした若い医師が答えました。「脳にリージャン（病巣）がありません」

検査の結果を見て驚いたのか、取り乱していた医師に娘は聞きま

した。「それは死に至るものなんじゃないか？」

医師ははっきりと答えました。

「そうです、死に至るものです」

リージャンとは、腫瘍のことだったので

娘はさらに、カリフォルニア大学

サンフランシスコ校の大病院に送られました。そこでも数日かけてたらくさんの検査を受けた結果、医師は、腫瘍の状況について詳しく説明したうえで一刻も早く手術をするよう薦めたのです。娘を蝕んでいる脳腫瘍はグリオブラストーマと呼ばれる種類のものです。脳の四分の三の組織に、タコの足のように広範囲に広がっていました。そのすべてを除去すると健康な組織も傷めてしまうことになるため、大手術はしたものでした。腫瘍は四〇%しか除去できませ

ませんでした。しかし、その大手術からわずか六日後、再検査すると、娘の腫瘍は二〇%も大きくなっていました。医師もこれにはショックを受けていました。そして宣告しました。

「これからは猛スピードで進行していくでしょう。余命は六カ月です」  
いくらかは延命できると希望を持



# 今注目の資産運用

米国のトランプ大統領の就任に続き、  
欧州ではフランスやドイツ、オランダで重要な選挙が予定されているなど、  
2017年は政治リスクが高まる1年といえそうだ。  
そんな中、個人が資産運用を検討するのであれば、  
どのような方策をとるべきか。  
そのヒントと有力な選択肢となり得る商品・サービスを紹介しよう。



うというのです。

つまり、化学治療も放射線治療も、娘にとっては良いオプションではなかった。娘はそんな現実を突きつけられ、私にこう訴えました。

「これから腫瘍が進行したら、私は視覚や聴覚を失い、話すことも考えることもできなくなる。もはや人間とは言えなくなる。拷問を受けるのと同じだわ。それは私の望んでいる生き方ではないわ、ママ」

それでも、医師は提案したのです。「とにかく化学治療をしてみよう」

娘は拒否しました。化学治療は、効果がない場合、逆に寿命を縮めるケースがあることを知っていたからです。

「私は化学治療の効果が得られない遺伝子なんですよ。だから、治療は受けたくないわ。化学治療しても病気を悪化させるだけではないの？私を実験動物にしたいの？」

反論する娘に、医師は怒って説得

にかかりました。娘が泣き出してしまふほどの凄じ剣幕でした。医師としては、明らかに不適切な対処に思えました。娘はこの時、医師に対する信頼感を失ってしまったのです。

オレゴン州に移住したい。娘がその口にしたのはそれから間もなくのことでした。オレゴン州と聞いた時、私は娘の意図をすぐに察知しました。安楽死という言葉が脳裏を過ぎりました。私は母親です。そんな行為を娘にさせたいと思うわけがありません。娘の決意を恐ろしく感じ、強く止めました。

それに、わずかですが希望も持っていたのです。世界のどこかに、娘を奇跡的に救ってくれる医師がいるに違いない。そう信じて、夫とともに、オーストラリアやヨーロッパの医師たちに問い合わせをしました。しかし、そんな私たちに娘は言い

ました。

「医師のアドバイスに従って治療を受けたとして、医療機器がビーツと鳴る音を聞きながら、ただベッドに繋がれているだけだわ。それは生きることは違う。ただ、技術的に生かさね続けられているだけ。それは死ぬよりも辛いことだわ」

娘の生き方を考えると、彼女の気持ちは理解できました。娘はハラハラするほどアクティブで、大胆で、冒険的な生き方をしてきたからです。旅好きの娘は、孤児たちを支援するボランティアツアーに一人で参加し、ネパールとタイに四カ月間滞在したこともありました。

「心は身体よりも強いのです。身体ができないと言っても、心はできると言うものです。だから、心に従い、自分のやりたいことをやりなさい」  
これは娘が敬愛したある先生の言葉です。それに従い、ワールドに生



今注目の「資産運用」と「相続対策」

# アンケート質問項目

**Q1** あなたの職業を教えてください

- ①会社員 ②公務員 ③会社経営・管理職 ④医師・弁護士などの専門職  
⑤自由業 ⑥商工自営業 ⑦専業主婦 ⑧その他

**Q2** よろしければ、お持ちの貯蓄・投資額を教えてください

- ①500万円未満 ②500万～1000万円未満 ③1000万～1500万円未満  
④1500万～3000万円未満 ⑤3000万～5000万円未満 ⑥5000万～1億円未満  
⑦1億円以上

郵便はがき

163-8791

999

日本郵便株式会社  
新宿郵便局 郵便私書箱39号

月刊『文藝春秋』  
今注目の  
資産運用と相続対策

資料請求&アンケート係 行



フリガナ			
お名前			
生年月日	年	月	日
明・大・昭・平			
満	歳	男・女	
資料送付先ご住所			
〒 -			
TEL ( ) -			
e-mail アドレス			
今後、文藝春秋からのお知らせやアンケートなどをお送りしてもよろしいでしょうか			
		<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ

※ 資料請求は平成29年4月10日消印分まで有効とさせていただきます。

きてきた娘です。じつとベッドに繋がれるような状態は、死んだも同然だと感じたのでしよう。  
心を決めて、私は夫に言いました。「娘の死が近いことを受け入れましょう。エサを探し回る鶏のように、ない治療を探し回るのもうやめて、娘が安心だと感じられる選択に従いましょう」

夫はなかなか受け入れてくれませんでした。最後は受け入れざるを得ないという結論に至ったのです。心臓がひっくり返るような大変な、しかし、とても重要な一日でした。中には、死ぬ間際まで受け入れない家族もいるそうです。ある家族は「克服できるから、他の医師を探そう。戦おう。あきらめるな」と最後まで言い続けていたそうです。その様子を目の当たりにした医師は「家族から理解されていない患者は可哀想だ」と同情していました。死を受

け入れた患者は、家族から「生きろ」と励まされるのではなく、むしろ、「あなたが死ぬのは悲しい。愛している」と言ってもらいたいのではないのでしょうか。大きな決意を身近な家族に理解されないことは、患者にとって悲しいことだと思います。

### 「その日」を自分で決める

私たちが安楽死の決意を受け入れると、娘はカリフォルニア州からオレゴン州に移住し、現地の医師に面会して検査を受けました。二十年も前から安楽死が認められているからでしょう、オレゴン州の医師たちはみな落ち着いており、患者にも理解がありました。腫瘍は劇的には治らないことや最後はどんな死に方をするかまでを詳しく説明してくれました。それはとても残酷な死に方でした。脳の腫瘍は他の臓器にできたが

んとは違い、ある日突然、何の前触れもなく発作に襲われて、歩くことができなくなったり、失明したり、聞こえなくなったり、思考できなくなったりするというのです。

安楽死が認められるには様々な条件があります。不治の病で余命六カ月であること、患者本人が二人の医師に口頭及び書面の両方でリクエストし承認を得ること、終末医療の治療オプションの一つであると理解すること、患者に判断能力があること、二人以上の証人がいること、最初の要請から十五日後に再要請することなどです。

娘があまりにも若かったからでしょう、リクエストした二人の医師は、娘に安楽死をする資格があることを告げる時、泣いていました。しかし、娘の方はほっとしたのだと思います。とても嬉しそうに見えました。承認が得られた娘は、「ママ、一



緒に旅行しよう」と言い出し、アラスカ州やワシントン州の海や山などを訪ねました。残された生を精一杯生き、エンジョイしたのです。

しかし、娘の上には常に、重たい雲が覆いかぶさっています。徐々に発作が起き始め、その間隔は短くなり、症状も悪化していきました。ベッドに横になって時間が長くなり、転ぶことも多くなりました。忘れやすくもなってきました。「今、どこにいるの?」と聞いたり、夫ダンの名前さえ思い出さず、口にしたらず、意味をなさないことを口にした。娘自身も、自分がおかしくなっていることを認識していました。そして、時が来たと感じたのです。

安楽死法では、患者本人がいつ致死量の薬を飲むかを決め、自身の手で飲まなければならないと定められています。つまり、話すことも、飲

した。

「そうよ。あなたは愛されたのよ」薬を飲み始めた娘はつぶやきました。

「ああ、嫌な味。アイスクリームを食べてもいい?」

娘はアイスクリームを食べ、薬の味を消しながら飲みました。そして、横になりました。小さいびきりが聞こえてきたので、私は娘の好きな詩を読み始めました。死の前に、娘がこう言っていたからです。

「ママ、まだ誰かの声が聴こえるの。『いつ死ぬのかしら、まだ死んでないのかしら』と誰かが言うのを聞きたくないわ。だから、詩を読んでもほしいの。深い眠りに入ったとしても、まだ死んではいけないのだから、耳に入ってくるのは詩だけにしたい」

読んだのは、マリー・オリヴァーが書いた「夏の日」という、バッタ

むこともできないような状態では、安楽死は実行できません。

発作が悪化していく中、娘は「飲む日を決めよう。状況が良くなれば、延期はいつでもできるのだから」と言い出しました。そして、その日を十一月一日に決めたのです。

その日、借りていたオレゴン州の家には、娘とダン、私と夫、ダンの弟、娘の友人たちがいました。朝食をとった後、近くにある森に、みなで散歩に出かけました。木々の隙間から差し込む光の中、鳥の声に耳を傾けながら森の小道を歩いたのです。みな、娘がころぶのではないかと心配で、代わる代わる順番に娘の腕を取り、支えるように歩きました。

私は確認するように聞きました。「本当に今日でいいの? 明日でもいいのよ。もっと待ってもいいのよ」娘の決意はゆるぎませんでした。

「今日がその日なの」

について詠んだ詩です。最後に、その詩はこう結ばれています。

「言って、私は他に何をすれば良かったの? すべてのものは、最後は死に行くものではないの? しかもあまりにも早く。言って、あなたは、ワイルドでかけがえのないその命で、何をしようとしているの?」

みなで娘が逝くのを見守りました。五分ほどで娘は眠りに入りました。そして三十分後、医療トレーニングを受けていた娘の友人が亡くなったことを教えてくれました。とても穏やかで、優しい死に顔でした。

### 私も同じ道を選ぶ

娘の安楽死は、私にとってとはとてもハードな経験でした。ましてや、娘の苦しみはいかばかりだったかと思えます。失明などの恐怖に襲われながら生きることはどんなに辛かつ

散歩から帰った後、娘はフェイスブックにこう記して別れを告げました。

“Goodbye, world. Pay it forward, Pay it Forward”とは娘が好きな言葉でした。助けが必要な人を見つけたらその人を助けよう。助けられた人は、また、助けが必要な人を見つけたら助けよう。そんなふうに、助けの輪が続いていくことで、人が繋がって行ってほしい。娘はそう願っていたのです。

午後、娘はベッドに入りました。ベッドの片側では私が、もう片側ではダンが娘に寄り添いました。娘はみなに言いました。

「あなたたちは、私の愛の輪だわ」私は娘に言いました。

「あなたはみなに愛されたのよ」あなたは愛された。そのことを、娘にはわかってもらいたかったからです。すると、みなも口々に言いま

たことか。しかし、娘は、安楽死を選ぶことで、腫瘍にこう言い放つことができたのだと思うのです。

あなたに私を殺させはしない。あなたは私の中にいるけど、あなたに私を拷問させはしない。私があなたをコントロールするの!

「娘と同じ状況に置かれたらどうしますか」と、よく聞かれます。安楽死の決意をなかなか受け入れられなかった私ですが、娘の生き方を見て、今では、将来、病気になるって大きな痛みや機能不全に襲われ始めたら、同じ道を選ぶほうと考えています。

娘が他界してから二年以上が過ぎ去りました。この間、安楽死を推進するNPOの招きでボランティアとして体験談を話したり、公聴会で証言したり、本を書いたりしてきました。娘が良く生き、良く愛したことを伝えたかったからです。死ではなく、そこに美しい生があったことを



わかってもらいたかったのです。  
「私と話したくなったら、マチュピチュに来てね」

亡くなる前、娘がそう言っていたので、一周忌の日、かつて娘も登ったペルーのマチュピチュの山に夫と一緒に登ったときのことです。頂上に着くと、身体が震えるのがわかりました。夫に聞きました。

「感じる？」  
夫は答えました。

「感じる」  
そこには石の壁がありました。触れてみると、娘が嬉しそうに笑いながら、こう言ったんです。

「もっと優しく愛してよ、ママ」  
私がギュッと掴むように、石を触っていたからかも知れません。だから、少し後ずさりして、ちょっとだけ軽く触れました。

娘は「私たちは一つね」とも言いました。「そうね、私とあなたは一

地元の議員たちに、ブリタニーが体験したことを話し続けて来ました。

### レガシーが生きている

二〇一四年十月当時、安楽死が認められていたのはオレゴン、ワシントン、ヴァーモント、モンタナ、ニューメキシコの五州だけでした。

しかし、ブリタニーの動画が世界的に注目されたのがきっかけとなつて、カリフォルニア州で急遽法案が起案され、二〇一五年十月には州知事の署名を得ることができました。承認には、アメリカ各地で、安楽死法案を推進しているNPO、コンパッション&チョイスズ（以下、C&C）が動いてくれたことが大きかった。

昨年はC&Cとともに、主に、コロラド州で安楽死法案を通すべく活動していました。NPOは資金が限

つよね」と答えると、「ノー・ノー、人類はみな一つなのよ」と諷められました。

かけがえのないひと時でした。

ブリタニーの夫ダン・ディアズは長年勤めた会社を退職。安楽死を推進しているNPOとともに、全米各州を回って、亡き妻との「約束」だった安楽死法案の立法化に尽力している。

ブリタニーが「安楽死」してから、二年以上が経過しました。僕は今も彼女が眠っている場所を、犬を連れて訪ねています。それは、サンフランシスコ郊外に買った僕たちの家から車で三十分ほどのところにあるレッドウッドの木のもと。彼女とよく散歩した森の小道の先にある静かな木立ちを歩くと、彼女が隣にいるような気がします。

られているし、アメリカでは州レベルで法律が決められるため、承認される可能性が高い州を優先しています。ケンタッキー州のように宗教団体の影響が大きい保守的な州で法案を通過させるのは非常に困難です。コロラド州は進歩的な州なので、法案が承認される可能性が高いと見てターゲットにしました。

しかし、コロラド州でも議員を説得するのが難しく、私たちは作戦を変えて、住民投票へと持ち込むことにしたのです。十五万人の署名が必要だったので、署名集めのため、多大な時間とエネルギーを注ぎました。お金もかかりました。安楽死に反対している団体が承認を阻止すべくネガティブキャンペーンを張って来たからです。彼らは広告に二百万ドル近くをかけていました。そのうち百二十万ドルがカソリック教会からの寄付です。これに対し、C&Cは

オンラインサイトで出会い、くついたり別れたりしながらも結婚した僕とブリタニーには、たくさんの計画がありました。子供たちを二、三人もうけて、彼らを学校に送り迎えして一緒にスポーツをしよう。二人で温めていたそんな人生計画はみな失われてしまいました。

そんな悲しみを抱えた僕を生かしてくれたのは、他ならぬブリタニーでした。死を前にして、彼女は僕にこう言っていました。

「悲しみに縛られていてはダメ。私が死んでも、喪に服し続けてほしいの。再婚して、家族を作って、幸せになって。私ができなかったことをしてほしいの」

僕には前に進んで行ってほしい。それが彼女の願いでした。前に進むため、各地で安楽死法案を通すという約束も彼女と交わりました。この二年間、いろいろな州を訪ね歩き、

五百万〜六百万ドルを費やして対抗しました。

結果的に、昨年十一月の住民投票では、六五%という多数の支持を得て承認され、コロラド州は安楽死を認めた全米六番目の州となったのです。

カリフォルニア州では、昨年六月九日、法律が施行されました。ブリタニーが生まれた州で法律が有効になったことで、僕は彼女との大きな約束を果たせたような達成感を得ることができました。

活動を続けていると、ブリタニーのレガシーがそこかしこで生きていることを感じます。サンフランシスコ北部のソノマ郡に住む、末期がんに侵された九十四歳の男性が安楽死を選択した時、彼の娘さんがこう言ってくれたのです。

「ブリタニーのおかげで、父は他州に移住することなく、自宅で、家族



たちに囲まれながら、穏やかな死を迎えることができました。父はどんなに嬉しかったことでしょう」

南カリフォルニアでは、ALS（筋萎縮性側索硬化症）で苦しんでいた女性が安楽死を選択しました。彼女は最期に薬を飲む前に、お世話になった人々を招いて大きなパーティーを開きました。それは、彼女が自分の人生に「ぎよなら」を告げる方法だったのでしよう。彼女がパーティーを開く余裕を持つことができたのは、薬を得たゆえに、死の過程を恐れる必要がなくなったからだと思います。不治の病に自分の生をコントロールされるのではなく、自ら自分の生をコントロールすることができるとなったのです。

### 緩和ケアも万能ではない

カソリック教会を中心とした宗教

女はターミナル・セデーションを選択して昏睡状態に入ったのですが、途中、二度も意識を取り戻し、大きな痛みでもがき苦しみました。両の目は大きく見開かれ、腕は震え、口から泡を吹く様子は見る側にもトラウマを与えるほどでした。ジェニファアを担当していたのはスタンフォーード大学のトップクラスの医療チームでしたが、彼らでさえ、その痛みをどうすることもできず、彼女は五日間も苦しみに耐え抜いた末、やっと死を迎えることができたのです。

考えてみて下さい。ジェニファアの場合もブリタニーの場合も、死という結果は同じです。しかし、ジェニファアは五日間も苦しみながら死んだ一方で、ブリタニーは三十分で穏やかに死ぬことができたのです。僕は法案の支持を得ようとする際、二人の亡くなり方を比較しながら、議員たちにごう問うています。「な

団体は、人が生死をコントロールするべきではないと考えているし、緩和ケアの専門医は人の痛みは薬でコントロールできると自負しています。しかし果たしてそうでしょうか。

まず、カソリック教会をはじめとする宗教団体はその宗教観を万人に押しつけるべきではなく、信仰に関わらず、個人の判断をリスペクトして中立的立場を取るべきです。僕自身、カソリックの家庭で育ったので、彼らの言い分には苛立ちを感じます。安楽死というのはあくまで一つの選択肢であり、自分の信仰に合わないのであれば、選択しなければ良いことなのですから。

医師もまた万能ではありません。死を前にした患者の痛みや苦しみを完全に取り除くことはできないのです。確かに、ホスピスでの緩和ケアで、九五%の患者は穏やかな死を迎

ぜ、ジェニファアは五日間も苦しまなくてはならなかったのか？。すると、正当化する理由を見つけられないのか、みな口をつぐんでしまします。

ターミナル・セデーションでさえ、必ずしも有効ではないケースがあることを考えると、それだけが唯一の選択肢であってはならないと思います。

また、反対派はよく、安楽死は自殺だといって認めようとしません。しかし、安楽死は自殺のようなネガティブな行為ではありません。

実際、安楽死を認められ、薬を得ても、三分の一以上の人々が服用していません。オレゴン州の場合、二〇一五年に安楽死のための薬を得たのは二百十八人ですが、八十六人は服用していないのです。できれば使わずにいたい。それは薬を得た患者に共通する思いではないでしょうか。

えることができるかもしれません。しかし、緩和ケアが効かない人たちも、わずかながら存在します。そのため、アメリカでは「ターミナル・セデーション」（終末期鎮静）と呼ばれる医療行為が全州で合法的に認められています。死を前に大きな痛みを訴える患者が安らかな死を迎えるため、医師は患者を昏睡状態にし、同時に、水分や栄養分などの点滴による補給を絶ち、死に至らせることができるのです。

しかし、このターミナル・セデーションも必ずしも有効ではないことを、僕はジェニファア・グラスというカリフォルニア州在住の友人の死を目の当たりにして痛感しました。

ジェニファアは肺がんが様々な臓器に転移したため、激痛に苦しんでいました。二〇一五年八月の時点で、カリフォルニア州ではまだ安楽死が認められていなかったため、彼

これからも各地の議員たちと会い、ブリタニーの体験談を話して、法案通過に力を注いでいきます。トランプ政権になり、保守勢力が力を増すことで、安楽死にはネガティブな影響を与える可能性もあるため、僕も頑張らなければなりません。

地道な説得を続けて来たのが奏功したのか、最近では安楽死を支持する共和党議員も現れ始めています。カリフォルニア州のある共和党議員は「安楽死は党を超えた人間の問題だ」と認識し、立場を支持へと変えてくれました。生死の問題は、支持政党や信仰の違いを超えた万人の問題なのです。

今は、ブリタニーとともに歩んだ日々を描こうと映画の脚本を書いていきます。いつ制作が始まるかはわかりませんが、映画にすることで、ブリタニーのレガシーを生かし続けて行きたいと思っています。